

**2024 年春 スギ・ヒノキ花粉飛散状況のまとめ**

2024 年春に都が行ったスギ・ヒノキ花粉の飛散数の測定、飛散予測及び花粉症患者動向調査等の結果についてとりまとめた。

**1 2024 年春のスギ・ヒノキ花粉の飛散数測定**

(表 1、図 1-1～3)

- (1) 今春のスギ・ヒノキ花粉の飛散数の平均(都全体)は、7,004 個/cm<sup>2</sup>であった。昨春の 9 割であり、過去 10 年(2014 年～2023 年)の平均の 1.3 倍であった。
- (2) スギ花粉の飛散数の平均(都全体)は、5,549 個/cm<sup>2</sup>であり、昨春の 8 割、過去 10 年の平均の 1.5 倍であった。
- (3) ヒノキ花粉の飛散数の平均(都全体)は、1,455 個/cm<sup>2</sup>であり、昨春の 1.2 倍、過去 10 年の平均の 9 割であった。

**2 スギ・ヒノキ花粉飛散数予測の検証**

(表 2、図 2、図 3)

- (1) 都の飛散花粉数の予測値(都内平均)が、5,200～7,000 個/cm<sup>2</sup>であったところ、実際の飛散数は、7,004 個/cm<sup>2</sup>であり、予測最大値にほぼ一致した。
- (2) 区部平均は予測の範囲内、多摩部平均は予測最大値をわずかに上回っていたが、予測最大値と実際の飛散花粉数との割合の差は 4%であり、概ね予測のとおりであった。
- (3) 地点ごとに見ると都内 12 地点のうち 6 地点は予測の範囲内であった。予測最大値を上回っていたのは杉並、青梅、立川、府中及び小平であり、八王子のみ予測最小値を下回っていた。しかし、予測の範囲内でなかった 6 地点での予測最大値(最小値)と実際の飛散花粉数との割合は、立川で 158%であったが、他の 5 地点では 97%から 120%であった。このことから、地点ごとに見てもほとんどの地点で概ね予測に近い値であった。

### 3 スギ花粉の飛散開始日と予測の検証（表3）

スギ花粉の飛散開始日は、青梅、多摩及び立川が2月9日と最も早く、千代田、葛飾、杉並、北、八王子、町田、府中及び小平が2月13日、大田が2月14日であった。昨春の飛散開始日と比較すると、千代田は1日遅かったが、残りの11地点では1～5日早かった。また、過去10年の平均と比較すると、大田が2日遅かったが、残りの11地点では2～7日早かった。

令和5年度東京都花粉症検討委員会（第2回）の検討結果として公表した飛散開始日の予測は、2月8日から12日であった。また、1月の気温と2月の予想気温等を考慮した再予測（2月1日公表）は、2月7日から11日であった。

実際の飛散開始日を再予測と比較すると、立川では1日早くなり、残りの地点では1～7日遅くなった。

### 4 飛散花粉数が「多い」以上の日数と予測の検証（表4-1～2、図4）

花粉の飛散数が「多い」以上の日数は、都全体の平均で39日となり、昨春（40日）並みであった。また、過去10年間平均（33日）より6日多かった。

地域別では、区部で39日、多摩部で40日であり、昨春並みであった（昨春は区部、多摩部とも40日）。

令和5年度東京都花粉症検討委員会（第2回）の検討結果として公表した「多い日」の予測は、都全体の平均で38日であり、概ね予測どおりだった。また、区部は予測（35日）と比較して、実際の日数は4日多く、多摩部では予測（40日）に一致した。

### 5 花粉症患者動向調査

世田谷区内クリニックにおける初診患者数のピークの時期は、2月26日～3月3日（2024年第9週）であり、前年（2月27日～3月5日（2023年第9週））と同時期であった。

自覚症状と花粉飛散数は例年どおり、有意に相関した。また、症状スコアが10点を越えた週は全6週（第9週～14週）と昨年と同様であり、花粉飛散数の増加に伴って症状を強く訴える患者が多かった。

スギ舌下免疫療法施行群は飛散ピーク時に受診した初診患者群と比較して有意に自覚症状が抑制されており、舌下免疫療法の有用性が改めて示された。

表1 2024年 スギ・ヒノキ飛散花粉数<sup>※1</sup>

(単位:個/cm<sup>2</sup>/シーズン)

①スギ・ヒノキ合計<sup>※2</sup>

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2024年	2023年	過去10年 平均	2023年 との比率	過去10年平均 との比率	2024年までの最大値と それを記録した年
千代田	5,723	5,884	5,071	1.0	1.1	11,465 (2018年)
葛飾	5,238	5,680	5,133	0.9	1.0	11,959 (2018年)
杉並	7,476	8,453	6,274	0.9	1.2	14,614 (2018年)
北	5,228	6,876	5,180	0.8	1.0	11,707 (2018年)
大田	5,269	6,884	5,205	0.8	1.0	12,481 (2005年)
青梅	15,764	17,596	10,195	0.9	1.5	37,899 (2000年)
八王子	6,951	10,020	6,529	0.7	1.1	24,958 (2005年)
多摩	7,767	5,987	5,237	1.3	1.5	21,565 (2011年)
町田	4,352	5,794	3,710	0.8	1.2	18,914 (2005年)
立川	10,115	11,432	4,755	0.9	2.1	19,969 (2011年)
府中	6,472	5,460	3,505	1.2	1.8	15,914 (2011年)
小平	3,692	5,153	2,570	0.7	1.4	12,345 (2005年)
都平均	7,004	7,935	5,280	0.9	1.3	

②スギ

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2024年	2023年	過去10年 平均	2023年 との比率	過去10年平均 との比率	2024年までの最大値と それを記録した年
千代田	4,370	4,868	3,410	0.9	1.3	8,302 (2005年)
葛飾	4,157	4,565	3,493	0.9	1.2	6,399 (2011年)
杉並	5,262	6,606	4,203	0.8	1.3	9,751 (2005年)
北	3,546	5,180	3,529	0.7	1.0	8,390 (2005年)
大田	3,819	5,442	3,498	0.7	1.1	9,740 (2005年)
青梅	12,907	15,046	7,177	0.9	1.8	30,361 (2000年)
八王子	5,663	8,970	4,666	0.6	1.2	18,298 (2011年)
多摩	5,639	5,118	3,870	1.1	1.5	17,253 (2011年)
町田	3,438	4,988	2,683	0.7	1.3	15,434 (2005年)
立川	8,966	10,651	3,692	0.8	2.4	17,994 (2011年)
府中	5,687	4,715	2,648	1.2	2.1	13,295 (2011年)
小平	3,135	4,118	1,802	0.8	1.7	9,547 (2005年)
都平均	5,549	6,689	3,722	0.8	1.5	

③ヒノキ

測定点 区市名	飛散花粉数			過去との比率		最大飛散数
	2024年	2023年	過去10年 平均	2023年 との比率	過去10年平均 との比率	2024年までの最大値と それを記録した年
千代田	1,353	1,016	1,661	1.3	0.8	6,446 (2018年)
葛飾	1,082	1,115	1,640	1.0	0.7	6,577 (2018年)
杉並	2,214	1,848	2,072	1.2	1.1	7,746 (2018年)
北	1,682	1,696	1,651	1.0	1.0	5,706 (2018年)
大田	1,451	1,442	1,707	1.0	0.8	6,255 (2018年)
青梅	2,857	2,550	3,018	1.1	0.9	17,295 (2005年)
八王子	1,288	1,050	1,863	1.2	0.7	11,573 (2018年)
多摩	2,128	869	1,368	2.4	1.6	6,527 (2018年)
町田	914	806	1,026	1.1	0.9	4,786 (2018年)
立川	1,149	781	1,064	1.5	1.1	6,468 (2005年)
府中	785	745	857	1.1	0.9	3,765 (2005年)
小平	557	1,035	768	0.5	0.7	3,040 (2018年)
都平均	1,455	1,246	1,558	1.2	0.9	

※1 飛散終了日までの合計値

※2 小数点以下の端数処理の関係で、①の花粉数が②と③の花粉数の合計と一致しない場合がある。

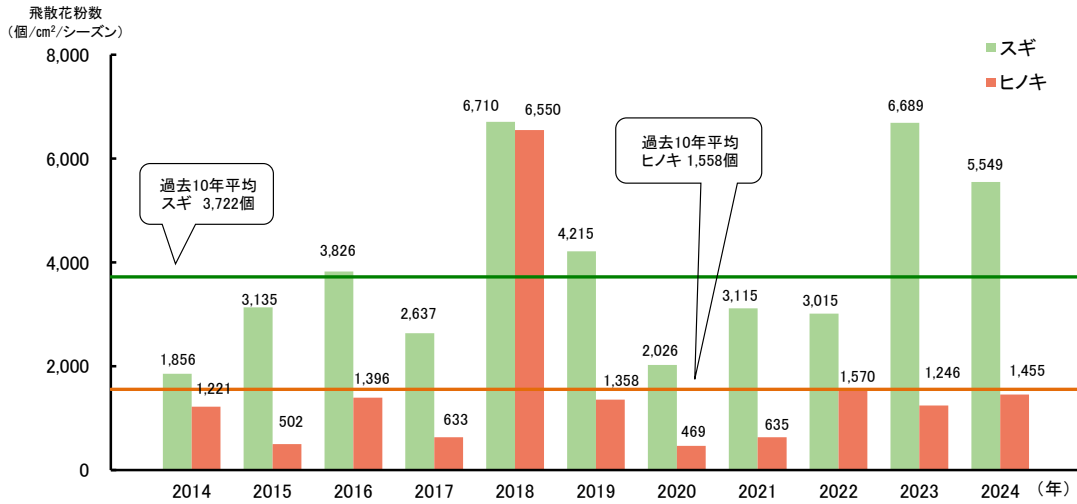


図1-1 飛散花粉数の経年変化(スギ・ヒノキ別)(都全体)

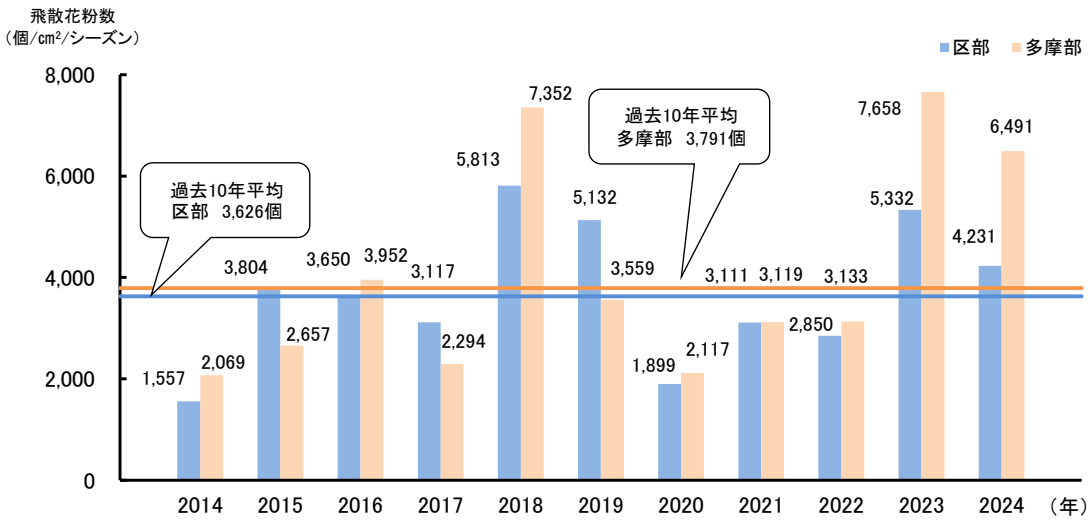


図1-2 スギ飛散花粉数の経年変化(地域別)

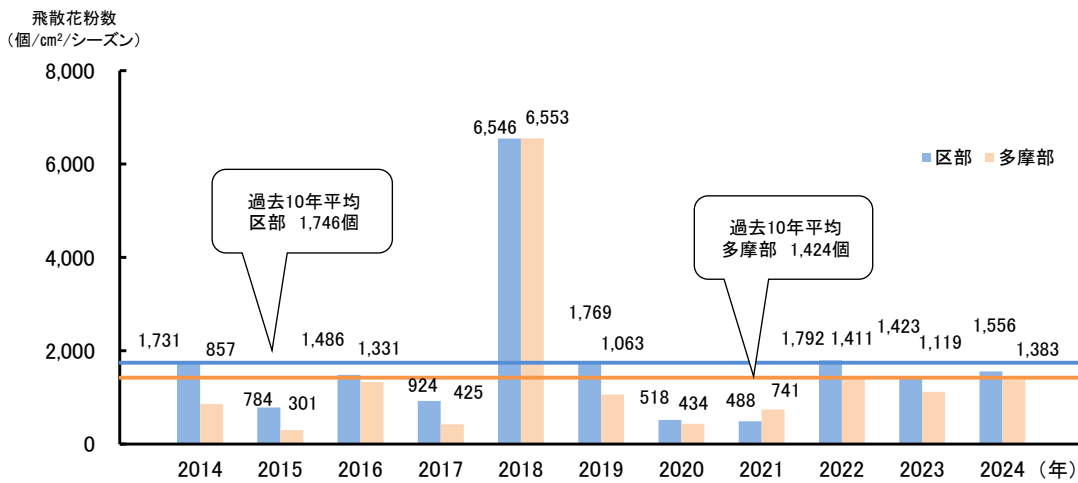


図1-3 ヒノキ飛散花粉数の経年変化(地域別)

表2 2024年春 飛散花粉数と予測値との比較 (単位:個/cm<sup>2</sup>/シーズン)

飛散花粉数	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均
2024春 実測	5,723	5,238	7,476	5,228	5,269	5,787
予測最大値	6,200	6,200	7,200	6,000	6,100	6,300
予測最小値	4,600	4,600	5,300	4,400	4,500	4,600

飛散花粉数	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
2024春 実測	15,764	6,951	7,767	4,352	10,115	6,472	3,692	7,873	7,004
予測最大値	14,700	9,700	7,800	5,700	6,400	5,400	3,500	7,600	7,000
予測最小値	10,900	7,200	5,700	4,200	4,700	4,000	2,600	5,600	5,200

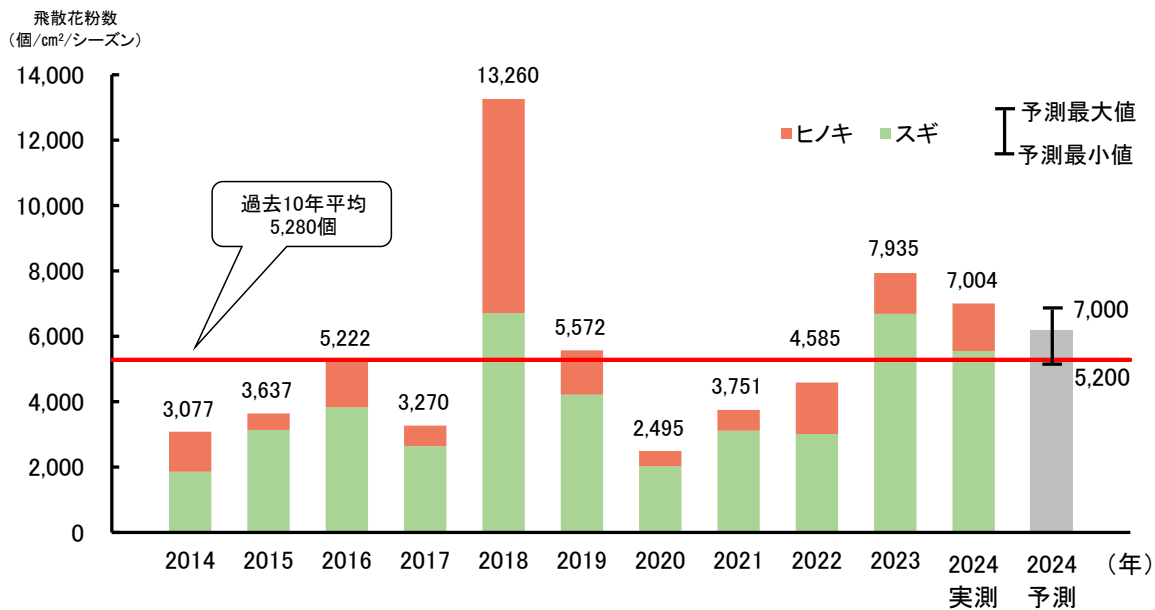


図2 飛散花粉数の経年変化と2024年予測値との比較(都全体)

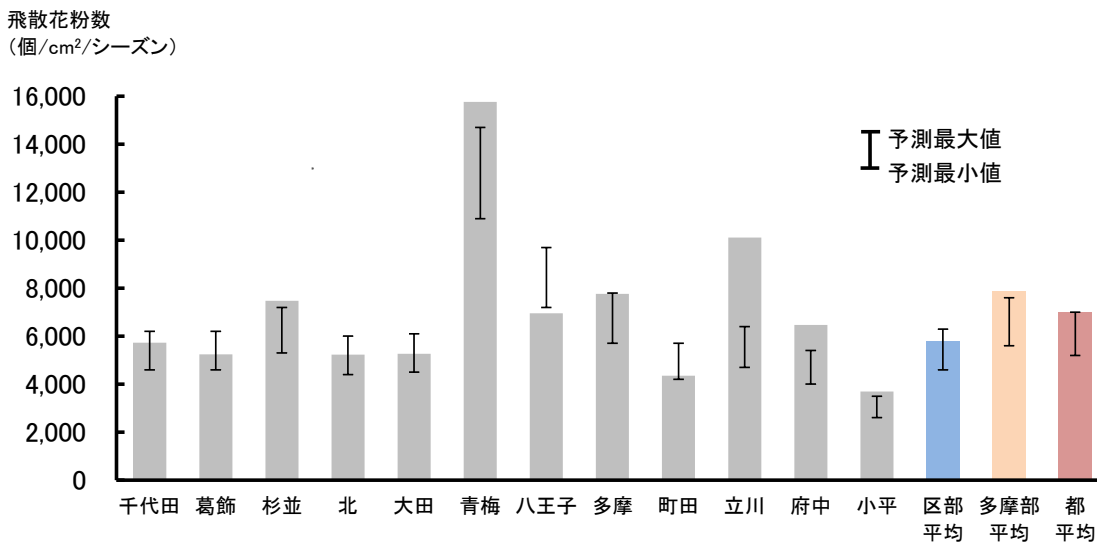




図3 2024年春 飛散花粉数と予測値との比較(各地点)

表3 2024年、2023年及び過去10年平均のスギ花粉飛散開始日

	2月														
	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
千代田							○	㊤	☆						
葛飾								㊤			☆		○		
杉並								㊤			○☆				
北								㊤			☆		○		
大田							☆		㊤				○		
青梅				㊤	○				☆						
八王子				㊤				㊤		☆		○			
多摩				㊤	○					☆					
町田								㊤				○☆			
立川				㊤	○						☆				
府中								㊤			☆	○			
小平								㊤				○	☆		

 2024年の飛散開始予測日の範囲(令和6年1月17日公表(令和5年度東京都花粉症対策検討委員会(第2回)検討結果))

 2024年の地点ごとの飛散開始予測日(令和6年2月1日公表 1月下旬の気象等を考慮して修正した飛散開始予測日)

㊤ 2024年の飛散開始日

○ 2023年の飛散開始日

☆ 過去10年の平均飛散開始日(2014年から2023年)

表4-1 飛散花粉数が「多い」以上の日数

	2024年	2024年予測	2023年	過去10年平均
区部(日)	39	35	40	36
多摩部(日)	40	40	40	32
都平均(日)	39	38	40	33

表4-2 ランク別飛散数日数

※1 「多い」以上の日数は、「非常に多い」以上及び「極めて多い」の日数を含む。

※2 「非常に多い」以上の日数は、「極めて多い」の日数を含む。

2024年	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm <sup>2</sup> /シーズン)	5,723	5,238	7,476	5,228	5,269	5,787	15,764	6,951	7,767	4,352	10,115	6,472	3,692	7,873	7,004
「多い」以上 となった日数(日)※1	40	37	41	38	37	39	54	39	42	35	39	40	29	40	39
「非常に多い」以上 となった日数(日)※2	33	31	38	32	34	34	43	31	34	29	38	35	26	34	34
「極めて多い」 となった日数(日)	24	24	28	17	20	23	35	23	22	11	29	16	15	22	22

2023年	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm <sup>2</sup> /シーズン)	5,884	5,680	8,453	6,876	6,884	6,755	17,596	10,020	5,987	5,794	11,432	5,460	5,153	8,777	7,935
「多い」以上 となった日数(日)	37	41	42	38	41	40	45	43	34	36	51	35	34	40	40
「非常に多い」以上 となった日数(日)	32	33	38	36	35	35	37	30	22	27	39	23	30	30	32
「極めて多い」 となった日数(日)	19	24	29	28	31	26	31	23	13	14	27	12	11	19	22

過去10年平均	千代田	葛飾	杉並	北	大田	区部平均	青梅	八王子	多摩	町田	立川	府中	小平	多摩部平均	都平均
【参考】飛散花粉数 (個/cm <sup>2</sup> /シーズン)	5,071	5,133	6,274	5,180	5,205	5,373	10,195	6,529	5,237	3,710	4,755	3,505	2,570	5,215	5,280
「多い」以上 となった日数(日)	35	36	39	34	35	36	41	37	34	29	31	27	23	32	33
「非常に多い」以上 となった日数(日)	28	30	34	29	29	30	34	28	25	21	22	19	16	23	26
「極めて多い」 となった日数(日)	18	19	23	20	19	20	24	16	14	10	12	10	6	13	16

比較	2023年 との比率	過去10年平均 との比率
【参考】飛散花粉数 (個/cm <sup>2</sup> /シーズン)	0.9	1.3
「多い」以上 となった日数(日)	1.0	1.2
「非常に多い」以上 となった日数(日)	1.1	1.3
「極めて多い」 となった日数(日)	1.0	1.4

〈飛散花粉数のランク〉

1日に観測された花粉数 (単位: 個/cm<sup>2</sup>/日)

- 0~10未満 少ない
- 10~30未満 やや多い
- 30~50未満 多い
- 50~100未満 非常に多い
- 100以上 極めて多い

(日本花粉学会「花粉情報等標準化委員会」において設定された基準による)

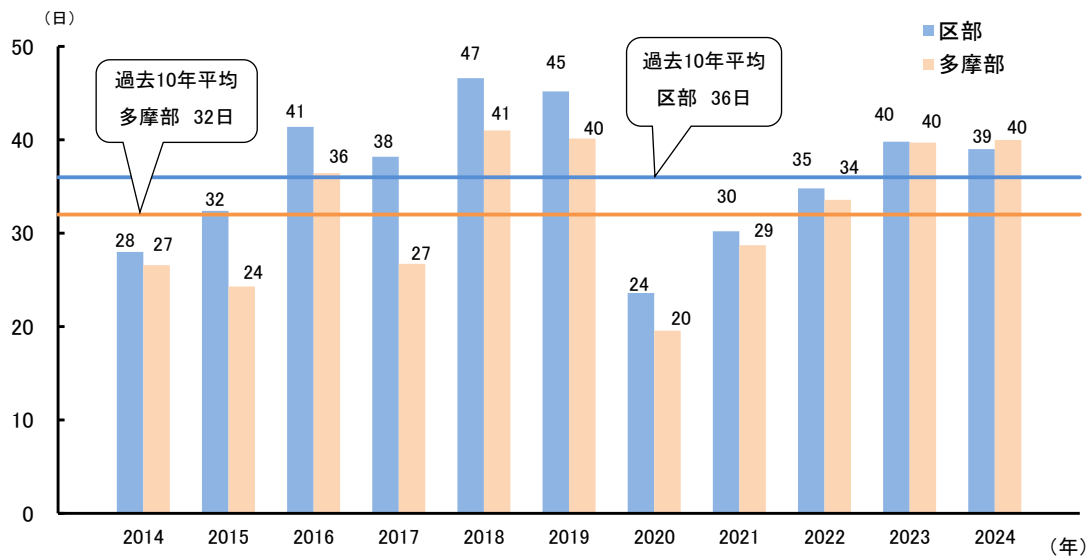


図4 飛散花粉数が「多い」以上の日数の経年変化(地域別)